

全日本ビーチバレーボール選手権大会ブロック補填細則

2024/5/29 更新

1 都道府県代表の推薦が締切日までに無い場合の補填について

(1) 当該都道府県が所属するブロック内より補填を行う。

全国9ブロック（ただし北海道・東北を1ブロックとする）

北海道・東北(7) 北海道／青森県／岩手県／秋田県／宮城県／山形県／福島県

関東(8) 茨城県／栃木県／群馬県／埼玉県／千葉県／東京都／神奈川県／山梨県

北信越(5) 富山県／石川県／福井県／長野県／新潟県

東海(4) 愛知県／岐阜県／三重県／静岡県

近畿(6) 滋賀県／京都府／兵庫県／大阪府／奈良県／和歌山県

中国(5) 岡山県／広島県／山口県／島根県／鳥取県

四国(4) 香川県／愛媛県／高知県／徳島県

九州(8) 福岡県／佐賀県／長崎県／熊本県／大分県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

(2) 同一のブロック内で開催された各都道府県予選「第2位」のチームをそれぞれ比較し、JVAビーチバレーボール・オフィシャルポイントの高い順に補填チームとして打診をする。

基準日は各大会の締切日時点でのオフィシャルポイントとする。

同点の場合はポイントの高い個人を有するチームを優先して補填する。

なお、開催地枠等により、既に「第2位」チームの出場が決定している場合、順位を繰上げ「第3位」チームを補填対象とする。

※予選大会終了後、主催者は入賞チームに補填対象となった場合、全国大会へ参加する意思があるかどうかヒアリングし予選結果報告書にその旨を記載すること。

※ジュニア・マドンナについては上記の点も踏まえ各ブロックで協議のうえ決定する。

(3) イレギュラーな場合

例えば、近畿2府4県＝6府県のエリアにおいて、大阪府のみが予選会を実施し全国大会に推薦エントリーをした場合、補填チームは大阪府の中から予選の順位に従って推薦する。

上記の形であれば、5チームを選出する必要があるので大阪府の中から順位に従って推薦する。5位など同位の場合はオフィシャルポイント順とする。

2つ以上の府県で予選が行われていれば各府県予選「第2位」「第3位」の順に従って同じくオフィシャルポイント順とする。

※ジュニア・マドンナについては上記の点も踏まえ当該都道府県、または各ブロックで協議のうえ決定する。

(4) ブロック単位で補填しきれない場合ブロックを越えての補填は原則行わない。但し、競技形式等により補填が望ましいと判断できる場合に限り、各都道府県予選会に出場した全チームの中からオフィシャルポイント順に補填する。同点の場合はポイントの高い個人を有するチームを優先して補填する。

なお、ポイントの基準日は各大会の締切日時点でのオフィシャルポイントとする。

補填はできるだけ行うが、要綱に定められた定数を割って競技を行うこともある。

■ビーチバレージャパン・ビーチバレージャパンレディースの場合 56 チームが定数

■ビーチバレーパシフィック・ビーチバレーパシフィックマドンナの場合 48 チームが定数

※ジュニア・マドンナについては各実行委員会の判断とする。

(5) 上記の手続きを行うために、各都道府県協会又は連盟の競技委員長は、予選会終了後直ちに地方大会の全試合結果を大会事務局まで報告する。(MRS を使用してエントリーする場合は大会エントリーを行う選手本人が試合結果のデータを競技委員長または大会役員から受け取りアップロードする必要がある)

以下はビーチバレージャパン・ビーチバレーパシフィックの運用方法とする。

2 都道府県代表を補填した場合の組合せについて

(1) 都道府県代表チーム並びに補填での出場チームを区分けせず、全体でシーディングを行う。

3 推薦 6 チームに選手変更及び棄権があった場合

(1) 原則推薦チーム発表後の選手変更及びキャンセルは認めない。

(2) ただし、実行委員会がやむを得ないと判断した場合にはこの限りで無い。

(3) やむを得ず推薦チームが選手変更又はキャンセルする場合、怪我等の場合は診断書、その他の理由の場合は文書にて申請し、実行委員会の承認を得なければならない。

(4) 各都道府県予選開始後、推薦チームの補充はしない。

(5) 都道府県代表（補填出場チームを含む）のシーディング上位を繰り上げる。

なお、ジャパンレディースは競技形式等の理由により、繰り上げを行わない場合がある。

(6) 繰り上げを行い欠員がでた場合、実行委員会によって再度補填するか検討する。

4 その他

(1) この細則に定めない事項については、各実行委員会で協議のうえ決定する。

(2) この細則は、2022 年 7 月 8 日より施行する。

以上